

## 研究目的・特色

**目的:** 東アジアにおける文化や経済等の社会問題をシステム問題としてとらえ、文化比較や経済発展比較等のアプローチに加え、ネットワーク理論やビッグデータ解析をはじめとする情報処理技術も用いて、東アジア社会の様々な問題を解決していく。

**特色:** 東アジア社会における今日の諸問題及び将来の展望を、①文理融合的な手法を用い、②多角的に研究する。また、③両大学間のダブルディグリー・ジョイントディグリーの検討・導入による新たな教育連携関係を構築することにある。



## 山口大学

### 研究代表者

植村 高久教授, 葛 崎偉教授  
(東アジア研究科)

### 協力者

#### 【人文分野】

谷部 真吾准教授  
(東アジア研究科)

#### 【経済分野】

城下 賢吾教授, 石 龍潭教授  
(東アジア研究科)  
陳 建平教授(経済学部)

#### 【情報分野】

松野 浩嗣教授  
(創成科学研究科)

## 研究計画

- 一年目: 人文・経済・情報の各分野において、教員間で情報交換を行い、共同研究を着手する。
- 二年目: 成果発表の第1弾として、学術フォーラムを開催し、国際学術雑誌への共著論文の投稿を行う。東アジア社会における諸問題を多角的・文理融合的なアプローチを検討する。
- 三年目: 社会システムのモデリングを行い、情報処理技術による新しい解析手法の開発を行う。成果発表の第2弾として、学術フォーラムを開催し、論文集を発行する。と同時に、両大学間のダブルディグリー・ジョイントディグリーの制度を検討する。
- 四年目: 全員による共同研究を継続し、研究成果の整理・まとめを行うと共に、学術雑誌へ投稿する共著論文を執筆する。また、同チームによる日本文部科学省や中国教育部などの研究資金獲得の申請を行う。
- 五年目: 共同研究成果発表の第3弾として、両大学以外の研究者も招き、国際学術フォーラムを開催して、研究成果の国際発信を行う。また、両大学間のダブルディグリー・ジョイントディグリー制度の導入を進める。

## 山東大学

### 研究代表者

仲 英済准教授  
(情報科学工程学院)

### 協力者

#### 【人文分野】

陶 冶准教授  
(哲学と社会発展学院)

#### 【経済分野】

楊 魯慧教授(女), 張 淑蘭教授(女), 李 济時准教授, 俞 少賓助教(以上, 政管学院)  
張 乃麗教授(女), 孫 淑琴准教授(女)(以上, 经济学院)

#### 【情報分野】

李 光明准教授  
(電気情報工程学院)

## 山大<sup>2</sup>の交流実績

### 国際化

【1980年代】

1983年(昭和58)に「山口大学と山東大学との学術交流協定」が調印され、学術における国際交流の幕開けとなりました。1989年(平成元)には山口国際交流会館が開館しています。1985年(昭和60)に赤レンガ色の学生会館が設置され、学会、後援会の開催、クラブ活動などに多様に活用されています。1985年(昭和60)～1993年(平成5)、医学部は病院と学部の建物を新築、1989年(平成元)には教育学部に総合文化教育課程が設置されました。80年代末頃から「開かれた大学」を目指して公開講座を盛んに開催。情報処理の高度化を図るべく計算機センターも設置されました。

熱烈祝賀山東大学 - 山口大学友好合作30周年

